

- ヘルスのセーフティネットの広がりに向けて：現状と課題. 第 20 回日本エイズ学会学術集会・総会 2006 年 12 月 1 日 (東京)
28. 貞升健志, 秋場哲哉, 新開敬行, 長島真美, 吉田 勲, 吉田靖子, 甲斐明美, 諸角 聖, 東京都における HIV 検査の状況, 衛生微生物協議会第 26 回研究会, 福井, 2005
 29. 貞升健志, 長島真美, 新開敬行, 秋場哲哉, 甲斐明美, 諸角 聖, 東京都内で検出された HIV-1 の Protease および Reverse Transcriptase 遺伝子の解析, 第 19 回日本エイズ学会, 熊本, 2005
 30. 貞升健志, 長島真美, 新開敬行, 甲斐明美, 諸角聖, 山口 剛, イムノクロマト法で陰性を示した HIV 検査陽性の 2 症例について, 第 80 回日本感染症学会総会, 東京, 2006,
 31. 貞升健志, 長島真美, 新開敬行, 吉田靖子, 山田澄夫, 東京都内で検出された HIV-1 の Protease 遺伝子の解析, 第 20 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2006
 32. 長島真美, 貞升健志, 新開敬行, 吉田靖子, 山田澄夫, イムノクロマト法のロット間差に関する検討, 第 20 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2006
 33. 新開敬行, 貞升健志, 長島真美, 吉田靖子, 山田澄夫, 東京都の HIV 検査におけるイムノクロマト法偽陰性例について, 第 20 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2006
 34. 川畑拓也, 小島洋子, 森 治代, 大竹 徹, 大國 剛, IC 法において陰性を示した 3 例の HIV 感染初期例, 第 20 回日本エイズ学会, 東京, 2006
 35. 川畑拓也, 小島洋子, 森 治代, 大竹 徹, 大國 剛, HIV 疫学調査における母集団の性感染症罹患リスクの解析, 第 20 回日本エイズ学会, 東京, 2006
 36. 森 治代, 小島洋子, 川畑拓也, 大竹 徹, V108I polymorphism が EFV 耐性誘導に及ぼす影響, 第 20 回日本エイズ学会, 東京, 2006
 37. 川畑拓也, 小島洋子, 森 治代, 大竹 徹, 大國 剛, HIV 感染に対して感染リスクの高い行動を取る人々を対象にした疫学調査において見つかった, HIV-1 遺伝子陽性である 3 例の感染初期例, 第 20 回近畿エイズ研究会学術集会, 大阪, 2006
 38. 小島洋子, 川畑拓也, 森 治代, 大竹 徹, 大阪府内において HIV 感染に対してリスクの高い行動をとる グループ内で広がる HIV-1 の疫学調査, 第 20 回近畿エイズ研究会学術集会, 大阪, 2006
 39. 浜武牧子, 浦野恵美子, 花房秀次, 加藤真吾, Tee Kok Keng, 武部豊, 山本直樹, 駒野淳 「血友病患者におけるエイズ長期未発症例における高力価中和抗体の存在と標的部位の同定」第 20 回日本エイズ学会学術集会 (2006 年 11 月 30 日-12 月 2 日, 東京)
 40. 木内英, 岩室紳也, 近藤真規子, 今井光信, 花房秀次, 加藤真吾 「母子感染予防における AZT 血中濃度」第 20 回日本エイズ学会学術集会 (2006 年 11 月 30 日-12 月 2 日, 東京)
 41. 田中理恵, 加藤真吾, 井土美由紀, 林邦彦, 今井光信 「HIV-1 RNA 定量キットのコントロールサーベイ」第 20 回日本エイズ学会学術集会 (2006 年 11 月 30 日-12 月 2 日, 東京)
 42. 須藤弘二, 田中理恵, 近藤真規子, 今井光信, 加藤真吾 「HIV 感染者 PBMC 中プロウイルスの multiplex nested PCR による構造解析」第 20 回日本エイズ学会学術集会 (2006 年 11 月 30 日-12 月 2 日, 東京)
 43. 花房秀次, 木内英, 太田未緒, 和田育子, 小島賢一, 加藤真吾 「血友病 HIV/HCV 肝

- 炎の現状と PEG IFN 治療の課題」第 20 回日本エイズ学会学術集会 (2006 年 11 月 30 日-12 月 2 日、東京)
44. 加藤真吾、田中理恵、栞原健、田上正、前田憲昭「唾液を用いた抗 HIV 薬の薬物動態の検討」第 20 回日本エイズ学会学術集会 (2006 年 11 月 30 日-12 月 2 日、東京)
 45. 西澤雅子、加藤真吾、三浦秀佳、山本直樹、杉浦互「細胞内における抗 HIV 薬 (プロテアーゼ阻害剤) の薬剤濃度のモニタリング」第 20 回日本エイズ学会学術集会 (2006 年 11 月 30 日-12 月 2 日、東京)
 46. 田上正、北川善政、連利隆、池田正一、加藤真吾、田中理恵、前田憲昭「唾液中の HIV DNA の定量」第 20 回日本エイズ学会学術集会 (2006 年 11 月 30 日-12 月 2 日、東京)
 47. Hua Yan, Nobuhiko Nomura, Tomoko Chiba-Mizutani, Hideka Miura, Tada-kazu Takakura, Satoshi Takeda, Wataru Sugiura: New HIV-1 integrase inhibitors identified from small molecule chemical library. 第 16 回抗ウイルス化学療法研究会. 2006 年 5 月 26-27 日, 福島
 48. 岩谷靖雅, レビンジュディス, 杉浦 互: APOBEC3G の HIV-1 の逆転写阻害メカニズム. 第 54 回日本ウイルス学会学術集会. 2006 年 11 月 19 日~21 日, 名古屋
 49. 三浦秀佳, 千葉智子, 滝澤万里, 松田昌和, 西澤雅子, 本多三男, 杉浦 互: ヒト細胞由来レポーター細胞 MARRBLE を用いた臨床分離株薬剤感受性検査の評価. 第 54 回日本ウイルス学会学術集会. 2006 年 11 月 19 日~21 日, 名古屋
 50. 柴田潤子, 西澤雅子, 松田昌和, 長谷川直紀, 吉田いづみ, 杉浦 互, 任 鳳蓉, 田中 博: 抗 HIV 剤治療下における Protease と Gag の相互干渉と共進化に関する解析. 第 54 回日本ウイルス学会学術集会. 2006 年 11 月 19 日~21 日, 名古屋
 51. 杉浦 互: HIV 遺伝子検査の進歩と今後の課題-本邦における薬剤耐性検査の現状と今後の展望-. 第 20 回日本エイズ学会学術集会. シンポジウム 1, 2006 年 11 月 30 日, 東京
 52. 小池 満, 三好 洋, 山口洋子, 奥瀬千晃, 中島由紀子, 井上靖之, 鈴木貴雄, 高橋正知, 三浦偉久男, 杉浦 互, 中島秀喜: HIV/HIB 重複感染例の検討-. 第 20 回日本エイズ学会学術集会. 2006 年 11 月 30 日-12 月 2 日, 東京
 53. 古賀一郎, 小田原 隆, 松田昌和, 杉浦互, 後藤美江子, 中村哲也, 岩本愛吉: 良好な HIV 治療中に合併した梅毒感染前後での HIV プロウイルス塩基配列の変化. 第 20 回日本エイズ学会学術集会. 2006 年 11 月 30 日-12 月 2 日, 東京
 54. 大出裕高, 松山 翔, 柿澤淳子, 杉浦 互, 星野忠次: CRF01_AE HIV-1 における NFV 耐性変異 N88S の出現メカニズムに関する構造学的知見. 第 20 回日本エイズ学会学術集会. 2006 年 11 月 30 日-12 月 2 日, 東京
 55. 藤崎誠一郎, 藤崎彩恵子, 伊部史朗, 浅黄 司, 吉田 繁, 正兼亜季, 大家正泰, 渡邊香奈子, 瀧永博之, 松田昌和, 貞升健志, 岡田清美, 近藤真規子, 奏 眞美, 溝上泰司, 森 治代, 南 留美, 杉浦 互, 金田次弘: HIV-1 遺伝子型薬剤耐性検査のパリテーション. 第 20 回日本エイズ学会学術集会. 2006 年 11 月 30 日-12 月 2 日, 東京

HIV検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究

目的： HIV検査相談の機会を活用し、
HIV感染者の早期発見・早期治療と感染予防・感染拡大の防止を計る。

検査相談機会の拡大

- ・HIV検査相談機会の広報に関する研究
- ・保健所等のHIV検査をより受けやすく、より効果的に
- ・医療機関(民間STDクリニック等)における機会の拡大
- ・日赤との連携(献血者への働きかけ)による機会の拡大
- ・唾液による検査や郵送検査の可能性の検討

- HIV検査相談の受検者の増加
- HIVに関する知識の普及

説明相談の質的充実

- ・検査陽性者をより確実に医療に繋げるための説明相談の手法の開発普及
- ・受検者にその後の感染を防ぐための行動変容を促す説明相談の手法の開発普及
- ・説明相談担当者の効果的な研修のための手法の開発と普及
- ・説明相談担当者のための事例集・マニュアルの作成と改訂
 - HIV感染の早期発見と早期治療に繋がる人の増加
 - HIV検査相談受検者の中で感染予防の行動変容に繋がる人の増加

検査技術の質的向上

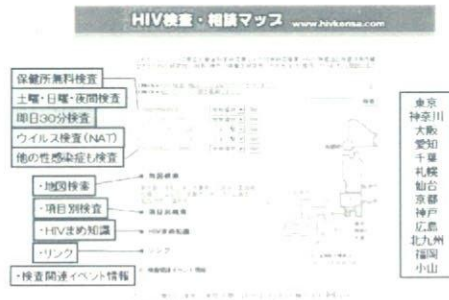
- ・新たな検査キットの検討、検査アルゴリズムの開発・評価・普及
- ・HIV遺伝子検査法の開発
- ・HIV検査技術の研修、コントロールサーベイ

- 偽陽性の減少による陽性的中率の向上
- フォロアップ検査の質の向上による治療への貢献
- より正確な感染実態の把握

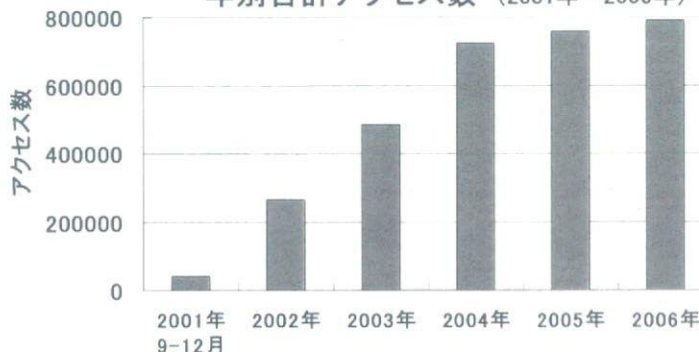
ホームページ
HIV検査・相談マップ
<http://www.hivkensa.com>

2006年12月現在
1日平均アクセス数
約2100件/日

2001年9月からの
合計アクセス数
300万件



年別合計アクセス数 (2001年～2006年)

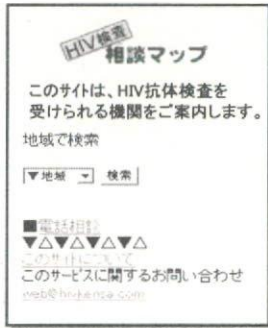


2006年
総アクセス数
約80万件

携帯電話版サイト
HIV検査・相談マップ
http://www.hivkensa.com

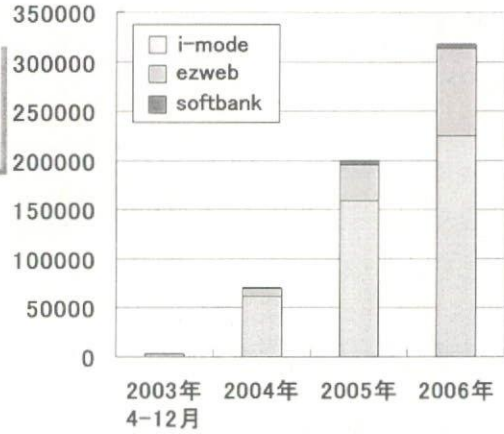
2006年12月現在
1日平均アクセス数
約1000件/日

2001年12月からの
合計アクセス数
60万件

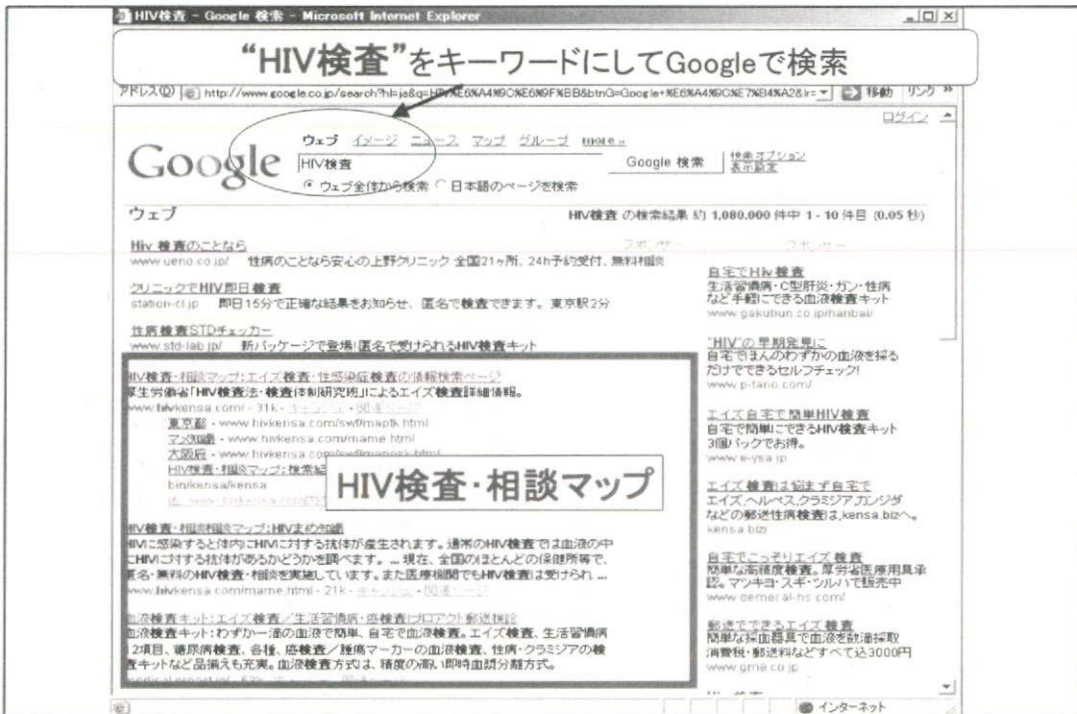


2004年3月より
全ての携帯電話で
(i-mode, ezweb, softbank)
アクセス可能

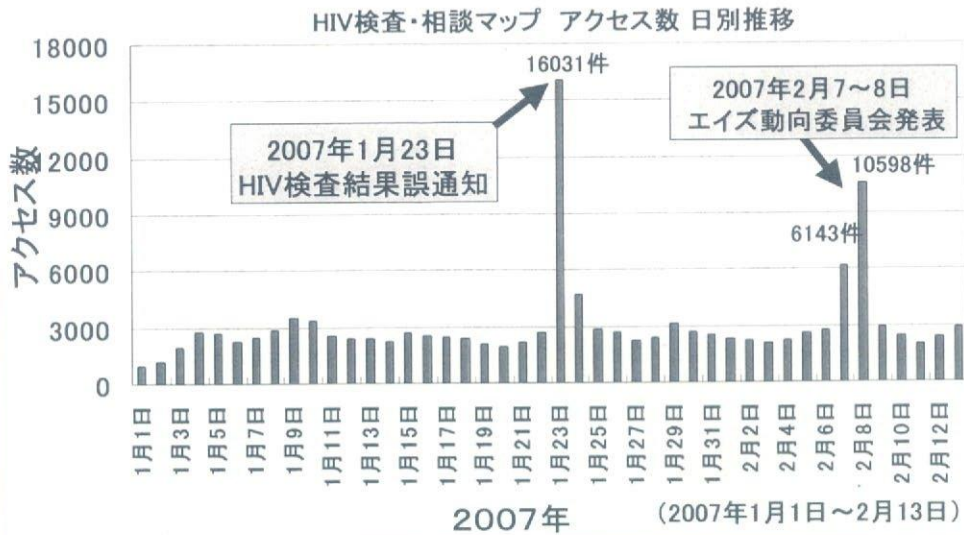
年別合計アクセス数
(2003~2006年)



2006年
総アクセス数 約32万件



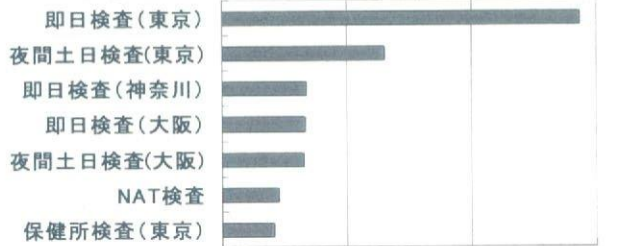
平常時・突発時におけるアクセス数の変動
(アクセス数による) インパクト・効果等の評価



検査希望者の
ニーズの把握

即日検査 土日夜間検査
人口の多い
大都市の検査機関 等

各カテゴリーへのアクセス数 (2006年12月分)



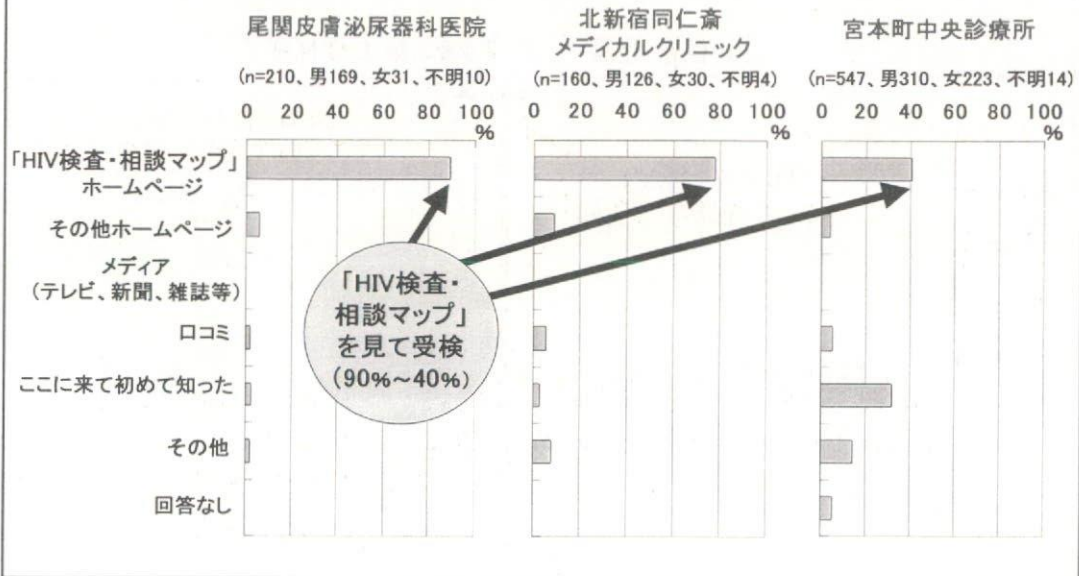
詳細ページアクセス数 (2006年12月分)



図4

民間クリニック 受検者アンケート調査 (2006年)

Q. ここの診療所が即日HIV検査を実施していることをどこで知りましたか？



HIV検査結果誤通知報道 (H19.1.23) を受けての
保健所等におけるHIV検査体制に関する緊急全国調査

平成10年度 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業 HIV検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究

保健所における HIV 検査体制に関する緊急全国調査

このアンケートは、保健所における HIV 検査 (HIV 検査と同時に性感染症検査を含む) の実施体制および結果通知に関する体制を把握するとともに、今後の HIV 検査体制の更なる向上のための参考資料とさせていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。(集計結果は、回答を集計・統計処理した形で、報告・発表等に使用させていただくことがあります。なお、個別の保健所名称等は、外部には一切公表いたしません。)

保健所名	所置
連絡担当者名	職種: 医師・保健師・事務・その他()
連絡先 TEL	FAX E-mail

1 貴保健所ではHIV検査相談を行っていますか? (はい ・ いいえ)

「はい」と答えた保健所 → 平成18年1~12月の実施状況をお教え下さい。

- HIV検査件数 検査数 件 うち陽性数 件
- HIV検査結果を聞きにこなかった受検者数 性
- ②の中で、HIV検査陽性で結果を聞きにこなかった数 性
- 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか? (ある ・ ない)
- 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数 件

2 貴保健所で行っているHIV検査相談事業の内容について教えてください。

- HIV 検査と同時に HIV 以外の性感染症検査を行っていますか? (行っている ・ 行っていない)
- 「行っている」と答えた保健所 → 実施している性感染症検査項目に丸をつけてください。
(梅毒 ・ クラミジア抗体 ・ クラミジア抗原 ・ 淋菌 ・ その他)

アンケート依頼:平成19年1月31日

回答締め切り:平成19年2月13日

依頼機関:

保健所 536箇所

HIV特別検査機関 9箇所

回答数

保健所 504箇所(94%)

特設検査施設9箇所(100%)

今回の報道事例以外に
HIV検査結果の誤通知は
なかった。

保健所等におけるHIV検査体制に関する 全国調査の結果 (2007年1月31日依頼)

上野保健所
研究部

保健所アンケート 回答数 (H19.3.20現在) 504 / 536箇所 (94%)

2006年にHIV検査を実施した保健所 501 / 504箇所 (99%)

2006年に陽性結果のあった保健所 120 / 501箇所 (24%)

陽性件数 249 / 86604 (陽性率 0.3%)

陽性結果を伝えられた件数→ 234 / 249 (94%)

受診したことを把握できた件数→ 177 / 249 (71%)

(陰性結果を伝えられた件数→ 84288 / 86355 (98%))

保健所等におけるHIV検査体制に関する 全国調査の結果 (2007年1月31日依頼)

上野保健所
研究部

特設検査機関アンケート 回答数 (H19.3.20現在) 9 / 9箇所 (100%)

2006年にHIV陽性結果のあった特設検査機関 9 / 9箇所

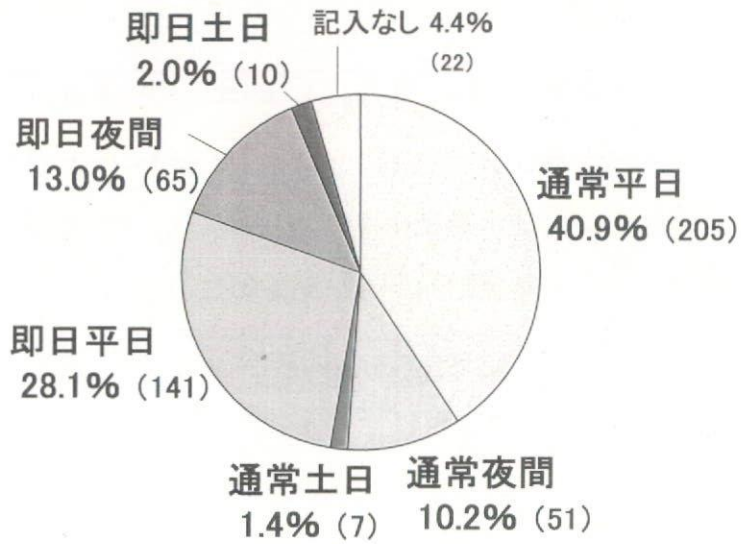
陽性件数 191 / 21725 (陽性率 0.9%)

陽性結果を伝えられた件数→ 181 / 191 (95%)

受診したことを把握できた件数→ 132 / 191 (69%)

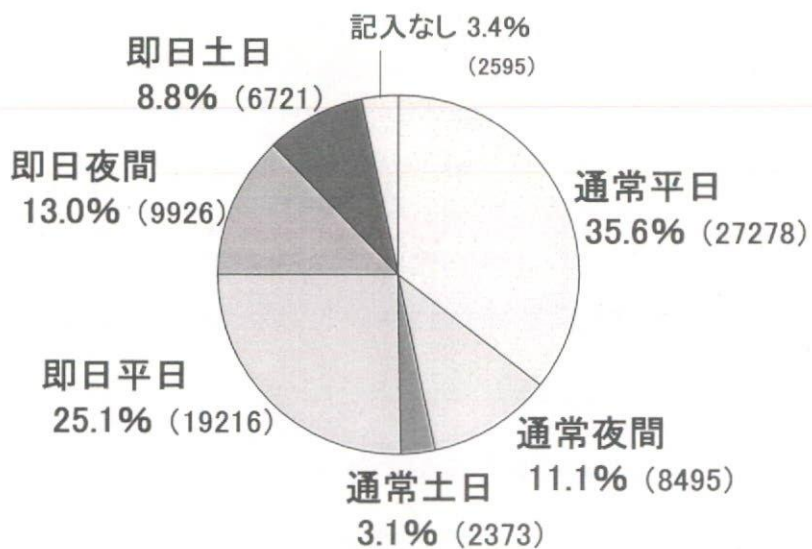
(陰性結果を伝えられた件数→ 21177 / 21534 (98%))

各種HIV検査の実施状況 (保健所数の割合)



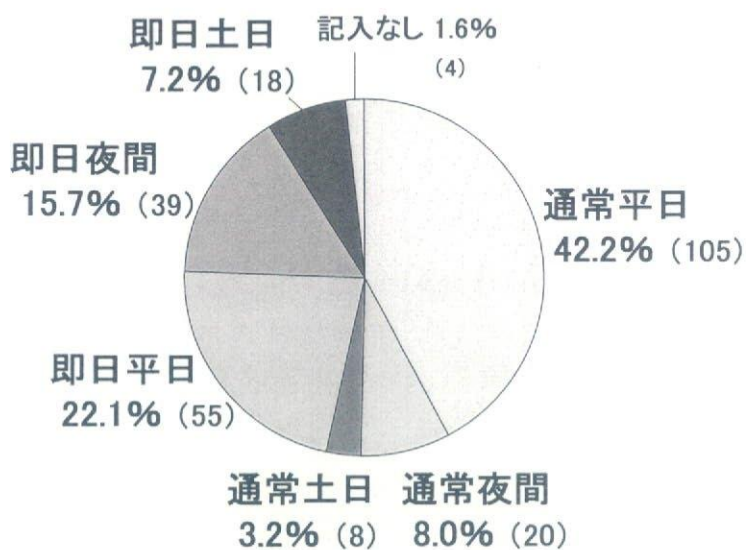
HIV検査実施
研究班

各種HIV検査での受検者数割合



HIV検査実施
研究班

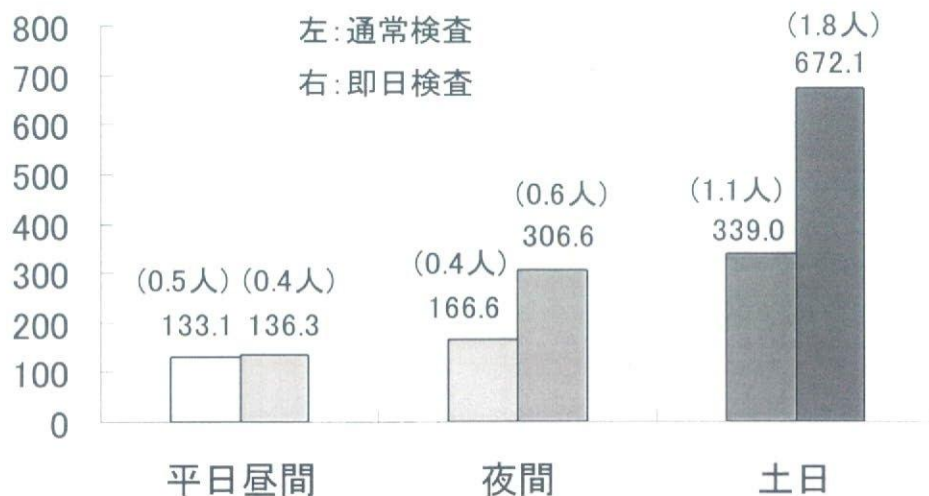
各種HIV検査での陽性者数割合



HIV検査所
6/2/02

一施設当りの検査人数

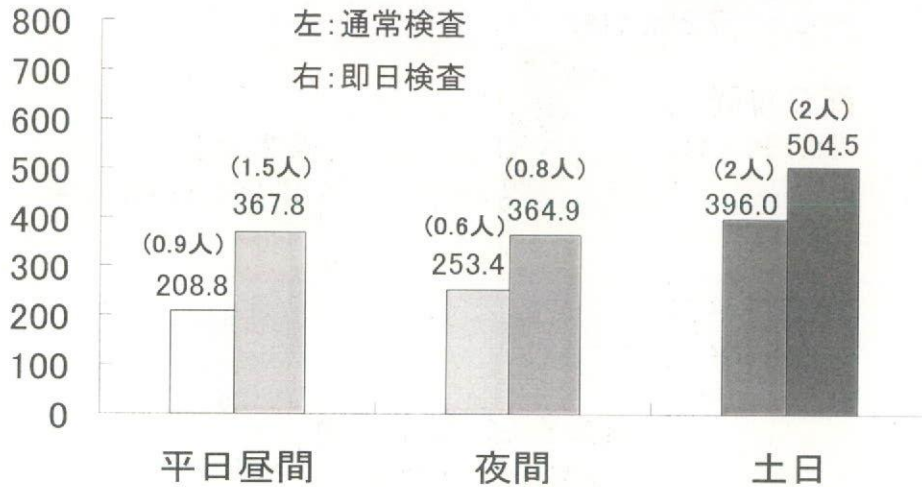
()内は陽性者数



HIV検査所
6/2/02

16自治体保健所HIV検査 〈一施設当たりの検査人数〉

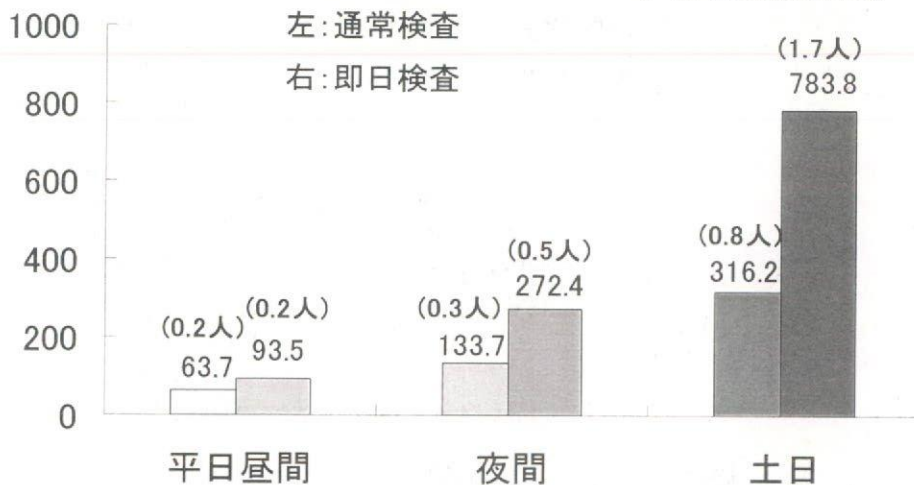
()内は陽性者数



HIV検査研究部
研究部

16自治体以外保健所HIV検査 〈一施設当たりの検査人数〉

()内は陽性者数



HIV検査研究部
研究部

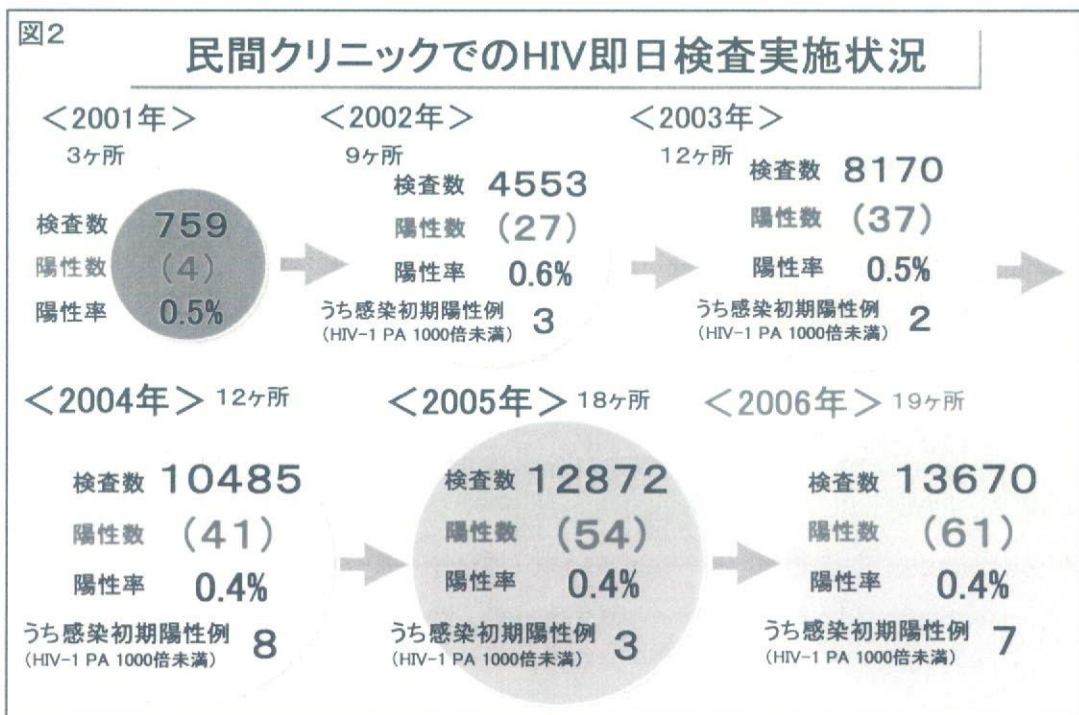
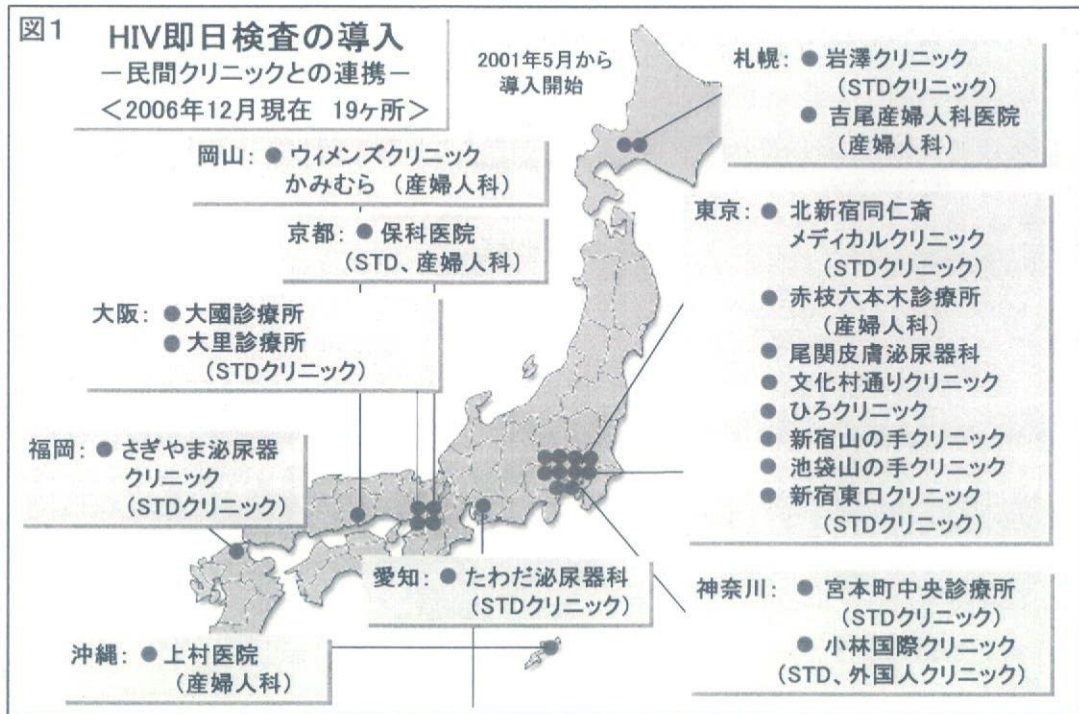


図5 保健所HIV検査への即日検査の導入(栃木県県南保健所)

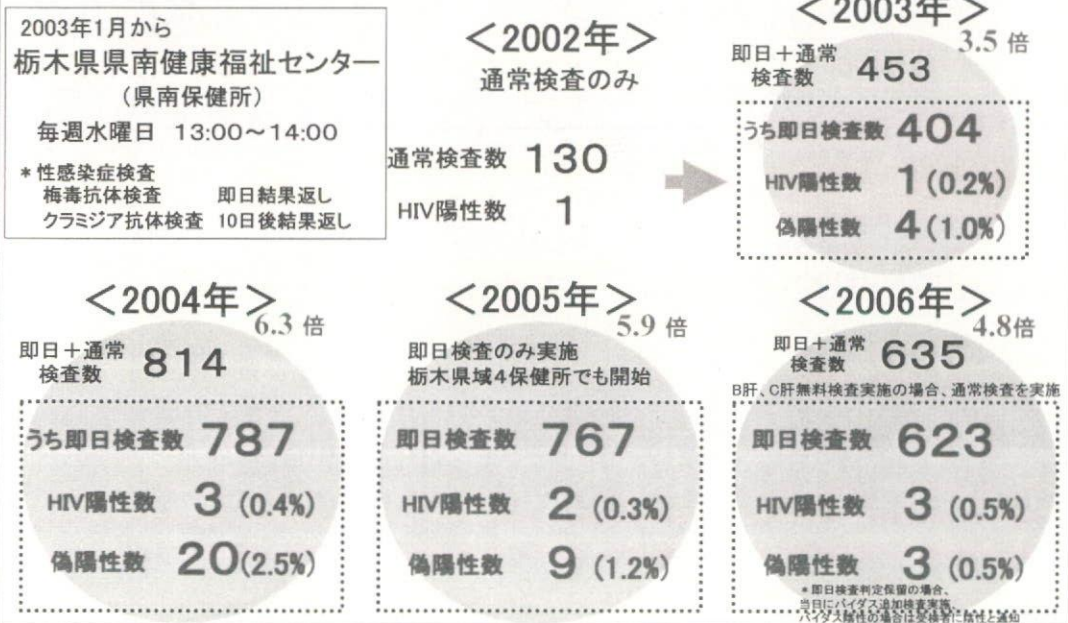


図7 保健所HIV検査への即日検査の導入(江戸川保健所)

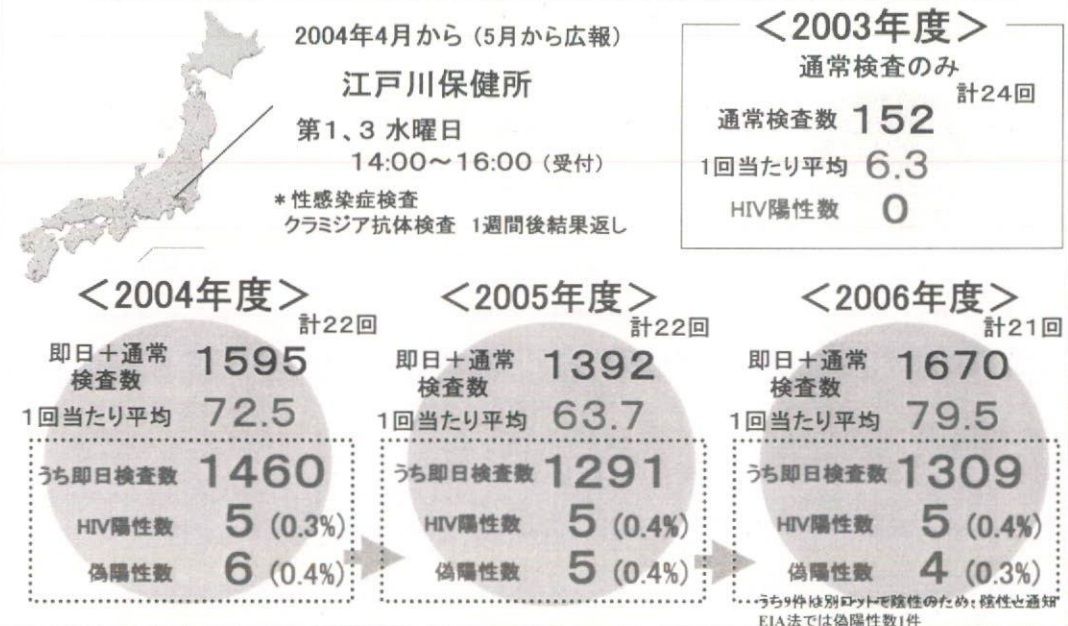


図8

保健所等におけるHIV即日検査の普及

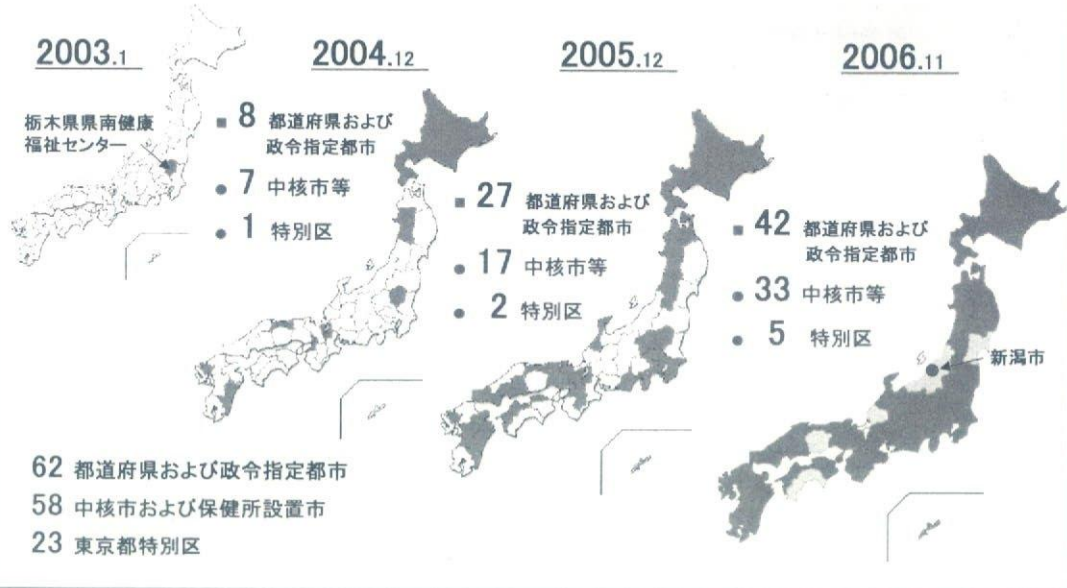


図9

保健所等無料HIV検査の検査数

(1997-2006年)

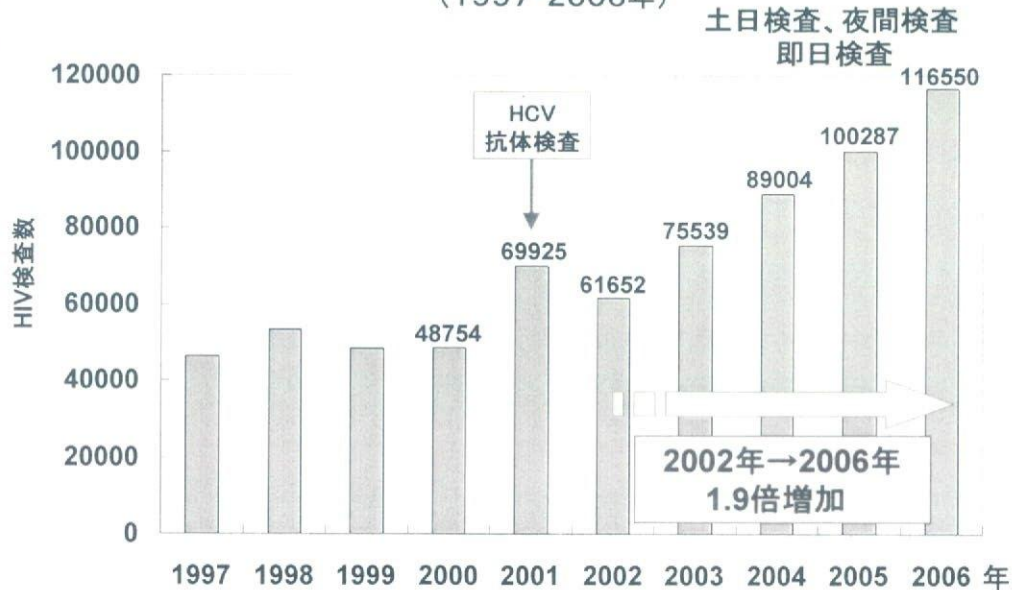


図10

保健所等無料HIV検査の陽性数 (2002-2006年)

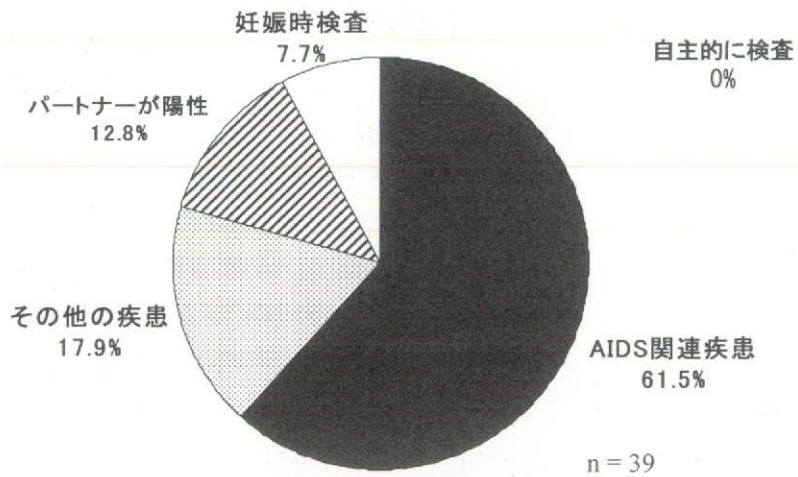
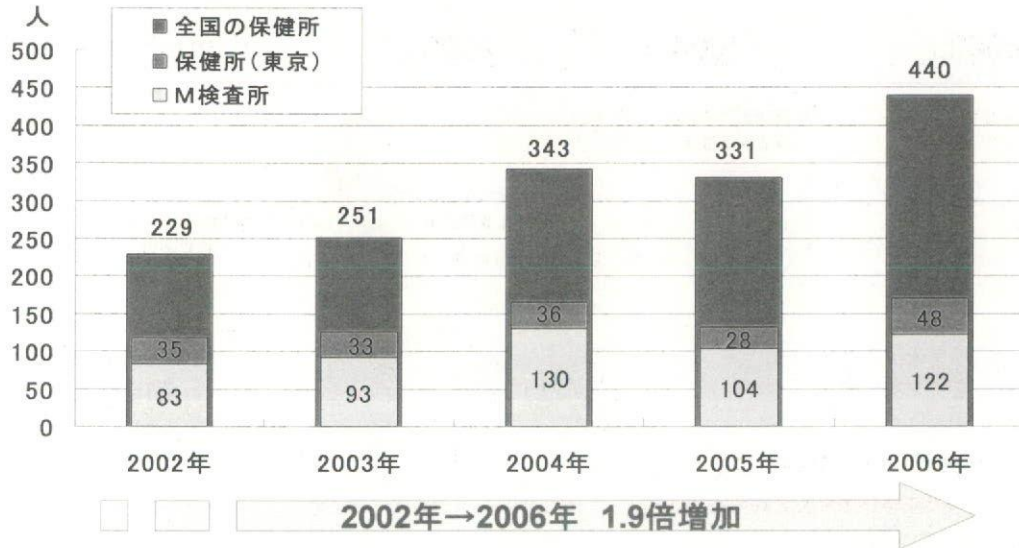
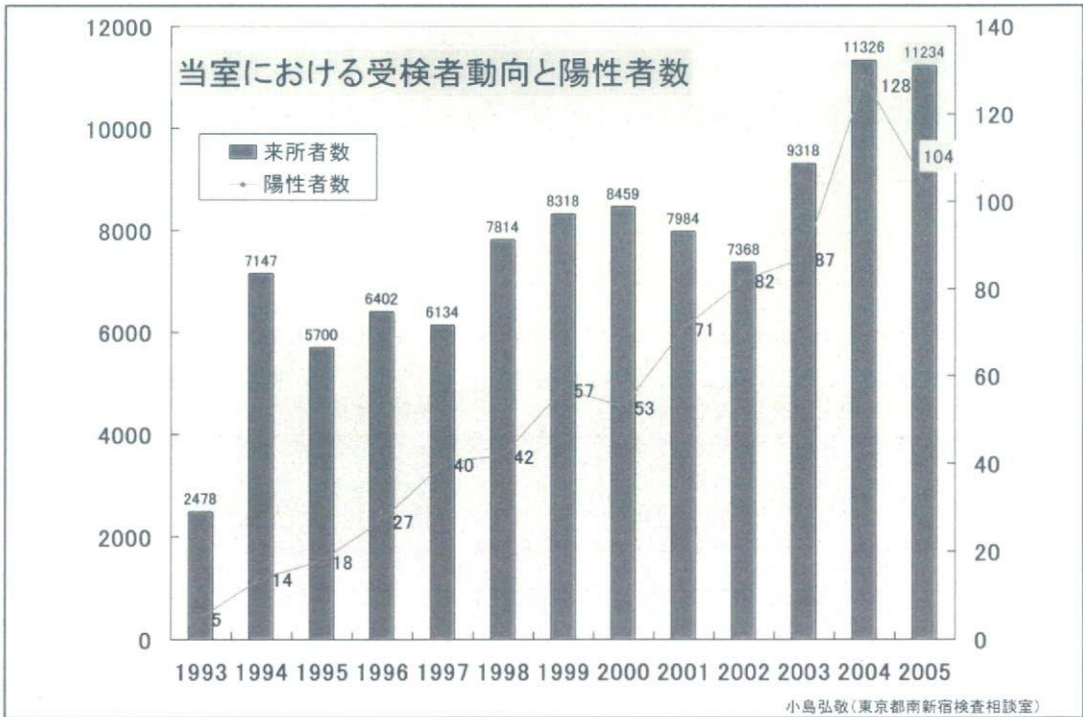
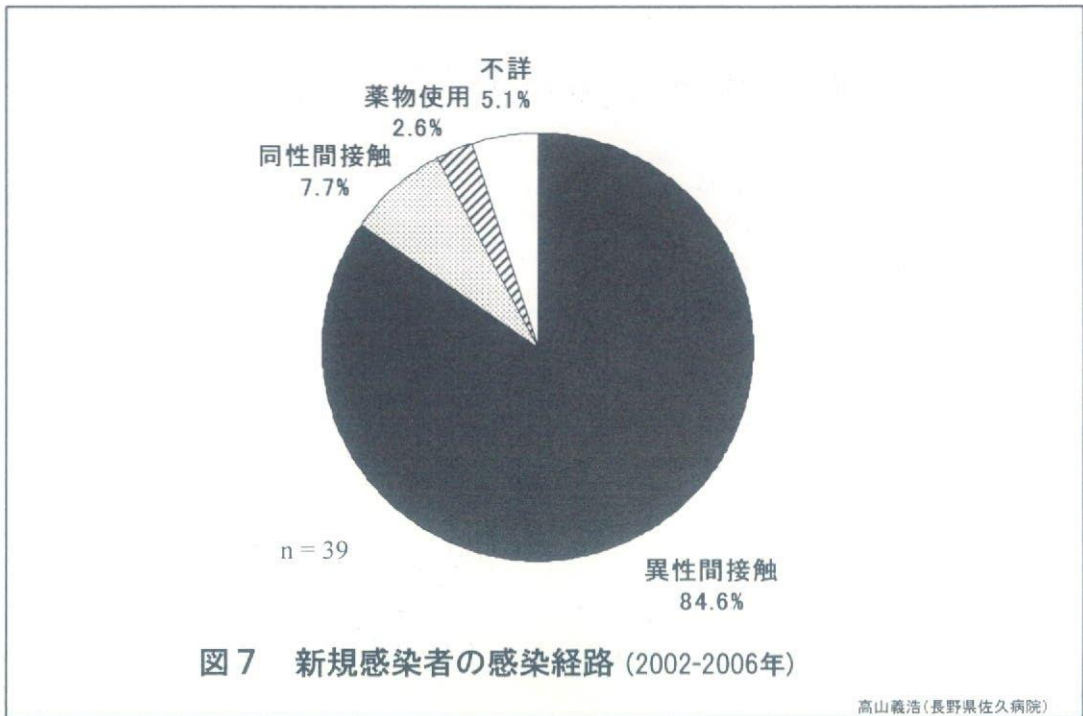
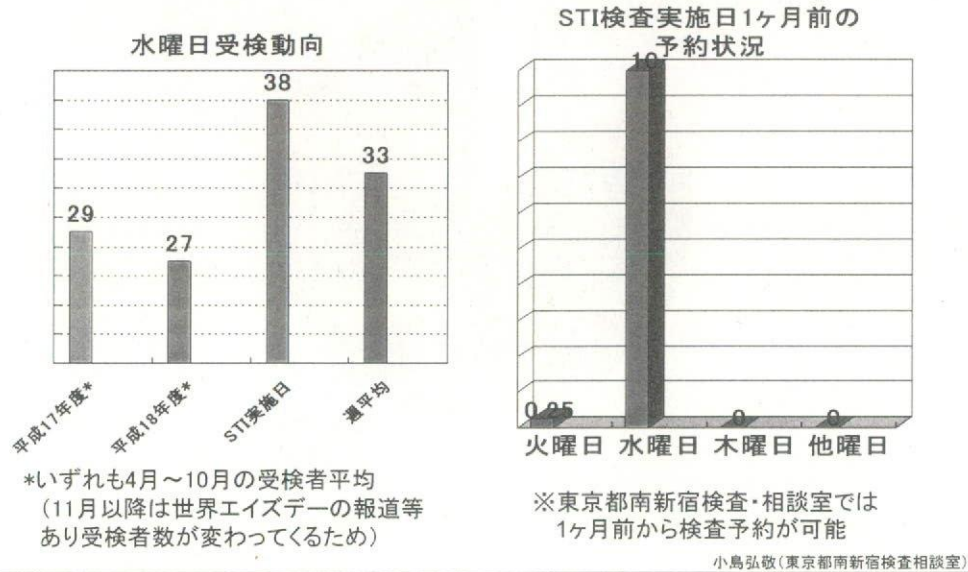


図6 新規感染者の診断契機 (2002-2006年)

高山義浩(長野県佐久病院)



STI検査実施日の受検動向比較



研究実施期間中の受検者の結果分析

	実数	%値		
陰性	93名	59.6%		
梅毒	4名	2.6%		
クラミジア	34名	21.8%	52名	33.3%
B型肝炎	14名	9.0%		
梅毒+クラミジア	1名	0.6%	7名	4.5%
梅毒+B型肝炎	0名	0%		
クラミジア+B型肝炎	6名	3.8%		
梅毒+クラミジア+B型肝炎	4名	2.6%		

受検総計 156名(平成19年1月分データ)

小島弘敬(東京都南新宿検査相談室)

HIV検査 - Google 検索 - Microsoft Internet Explorer

“HIV検査” 検索結果

Google

スポンサー枠

クリニク(上野クリニック)

クリニク(東京ステーションクリニック)

郵送検査(アルパコーポレーション)

HIV検査・相談マップ

郵送検査(デマカルヘルスサポート)

郵送検査(テマカルヘルスサポート)

郵送検査(テマカルヘルスサポート)

郵送検査(kensa.biz)

郵送検査(テマカルヘルスサポート)

郵送検査(GME)

インターネット

HIV郵送検査の調査 —調査対象の選択—

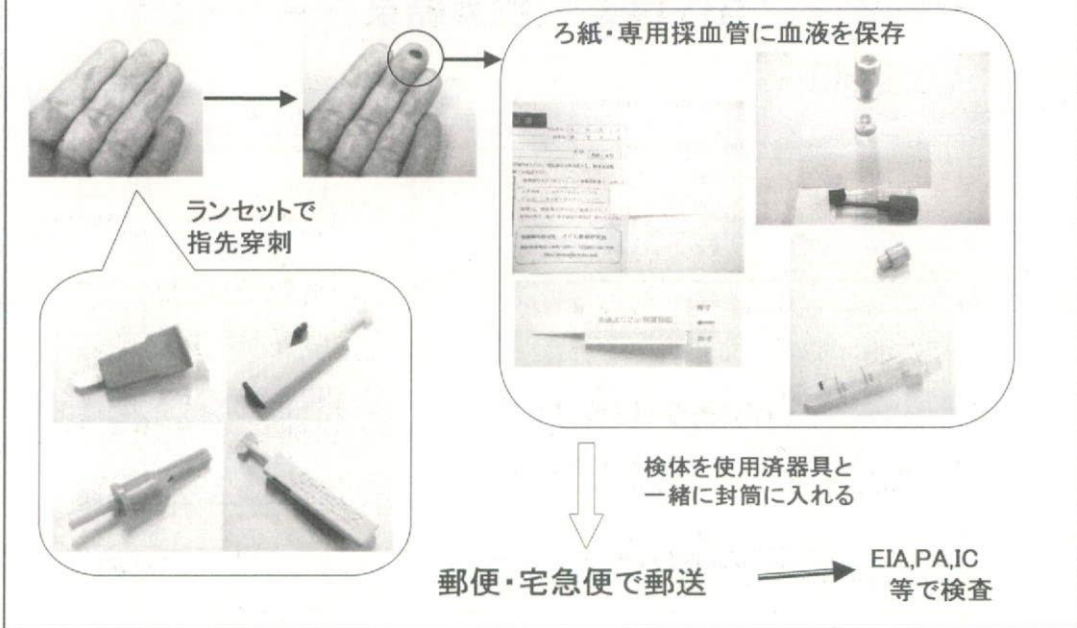
インターネット上にある HIV郵送検査を取り扱うサイトを調査

HIV郵送検査を取り扱う 郵送検査会社 10社 (2006年12月調べ)

HIV郵送検査を取り扱う 郵送検査会社 4社 (2005年8月調べ)

検査検体の採取方法とその輸送方法の実際

上野製薬株式会社
研究部

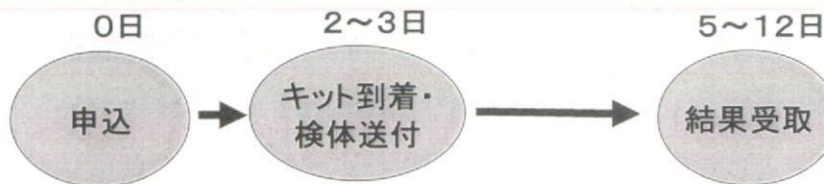


郵送検査の流れ

上野製薬株式会社
研究部

- ・受検費用 2625～7900円
- ・結果受取までの期間

郵送
携帯・PCへのE-mail
ホームページ



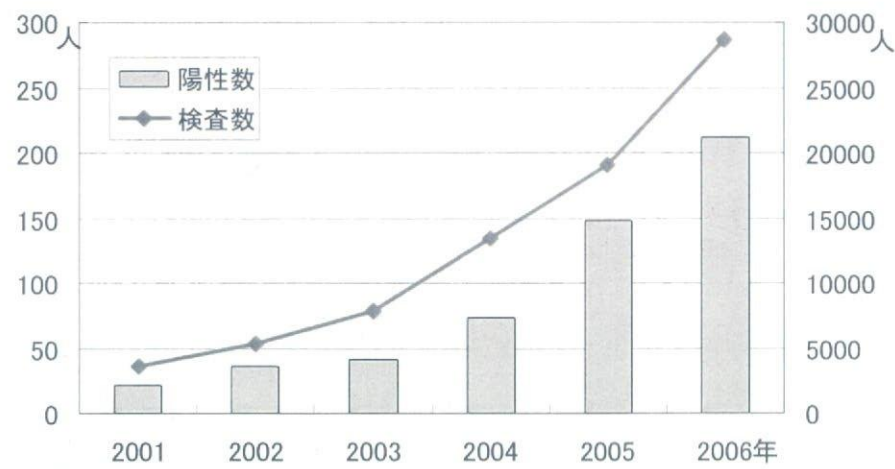
インターネット
電話
FAX
薬局
契約営業所

検査

	保存方法	検査法
A社	ろ紙	PA/EIA法(抗体検査)
B社	ろ紙	PA法(抗体検査)
C社	専用採血管	EIA法(抗体検査)
D社	専用採血管	イムノクロマト法(抗体検査)
E社	専用採血管	PA法(抗体検査)
F社	ろ紙	イムノクロマト法(抗体検査)

HIV郵送検査の動向

検査数とスクリーニング検査陽性数の推移 (2001-2006)



検査会社数 (アンケートに回答した会社のみ)

年	検査会社数
2001	1
2002	1
2003	2
2004	3
2005	5
2006	6

“HIV検査” 検索結果

Google 検索

HIV検査の検索結果 約 1,070,000

自己診断キットの15サイトを調査 (2006年12月調べ)

郵送検査(アルパコーポレーション)

クリニック(上野クリニック)

郵送検査(デマカルヘルスサポート)

郵送検査(kensa.biz)

キット輸入代行

入手キットの種類・仕様・問題点

A



・HIV自己検査キット
15注文し、15個(7種)
を入手

・医療用

- ・写真と異なるキット
- ・使用期限不明
- ・再販による不十分な添付文書

製品名	入手数	仕様
A	7	共通要素 カセット
B	2	Buffer液 ランセット 添付文書
C	1	非共通要素 消毒綿 ピペット
D	1	
E	1	検体: すべて全血
F	1+1*	
G	1*	使用方法: 基本的に同じ
計7種	15	

* 偽造品

カウンターフィットデバイス(偽造医療用具)

偽造品

QuikPac One Step HIV 1+2 Test



入手キット(外箱あり)

ランセット

F

同じ製造
販売業社名

One Step/
OneStep

医療用/無記載

異なる写真

Specificity/
Accuracy

異なる要素
↓しかし、
同じ添付文書

真正品

QuikPac OneStep HIV 1+2 Test



Tyson Bioresearch, Inc. 写真提供



入手キット(外箱なし)

セーフティー
ランセット